

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

平成29年9月号 No.124

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

第68回全国労働衛生週間（10月1日～7日）

働き方改革で見直そう みんなが輝く 健康職場

全国労働衛生週間は、昭和25年に第1回が実施されて以来、本年度で第68回を迎える。

本週間は、国民の労働衛生に関する意識を高揚させ、事業場における自主的な労働衛生管理活動を通じた労働者の健康確保と快適な職場環境の形成を図ることを目的とし実施するものです。

愛知県内における業務上疾病者数はここ数年減少していましたが、休業4日以上業務上疾病者数は327人と対前年比22人、7.2%の増加となり、このうち死亡者数は9人と対前年比2人の減少となりました。死亡者数9人のうち、7人が長時間労働等を原因とする脳・心臓疾患や精神障害によるものとなりました。

また、本年7月に入り、アンモニアによる死亡災害や、複数の労働者が同時に被災する一酸化中毒が相次いで発生しています。

こうした状況の中、さらに、労働者が働くことにより健康を損なうことがあってはならないものであることから長時間労働削減対策、過労死等の防止対策を最重点に取り組むとともに、メンタルヘルス対策、化学物質による健康障害防止対策、腰痛・熱中症対策及び受動喫煙防止対策の取り組みについても重点的に推進しています。

各事業場におかれましても全国労働衛生週間の実施について周知いただくとともに、これを契機として事業場における自主的な労働衛生管理活動の定着に向けて積極的に取り組みをお願いします。

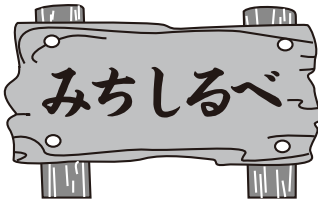
実施者の実施事項

労働衛生水準のより一層の向上及び労働衛生意識の高揚を図るとともに、自主的な労働衛生管理活動の定着を目指して、各事業場においては、事業者及び労働者が連携・協力しつつ、次の事項を実施する。

全国労働衛生週間中に実施する事項

- ア 事業者又は総括安全衛生管理者による職場巡視
- イ 労働衛生旗の掲揚及びスローガン等の掲示
- ウ 労働衛生に関する優良職場、功績者等の表彰
- エ 有害物の漏えい事故、酸素欠乏症等による事故等緊急時の災害を想定した実地訓練等の実施
- オ 労働衛生に関する講習会・見学会等の開催、作文・写真・標語等の掲示、その他労働衛生の意識高揚のための行事等の実施

“いま、木に本気” ぐらしに活かそう木の良さを



江戸 その2 —一家康の平和国家づくり—

名古屋港木材産業協同組合
理事長 嶺 木 昌 行

日本史において家康を評価する時、「ほととぎす」のたとえ話にあるように、信長・秀吉と家康とは同等レベルに置いて対比されている。さらに気の毒なことには、信長が武力を使って古いものを打ち壊し新しい時代を拓いた、秀吉はこれを踏襲し更に拡大したという相応な評価がされているのに対し、家康は何もせずに、秀吉が死んだ後横取りしただけだという、まことに心貧しい評価までである。果たしてそうか。私は、家康は信長・秀吉の成果を決して横取りしたのではなく、二人の失政を十分に補い、極めて危険な状況にあった当時の日本を江戸時代という平和・安定の時代に上手く着地させた名政治家と評価したい。

16世紀の日本は、ポルトガル・スペイン等、西欧列強がアジアに進出していた時代であり、どの国も列強の侵攻に脅かされていた。信長はこうした列強文明を取り入れ、いち早く強い軍隊をつくり上げて、尾張の小国から日本の最強・最大の大名となった。その後を継いだ秀吉はこれを完成させ、桃山時代という一時的とはいえ、全国統一を成し得たわけである。

「馬上天下を得るも馬上天下を治むるにあたわず」という言葉があるが、信長・秀吉はまさにそれで、二人の戦による拡大主義は、既に桃山時代には限界に来ていた。秀吉は天下を取っても天下を治める能力はなく、拡大一辺倒ゆえに朝鮮半島に出兵し、豊臣体制を崩壊させてしまったのである。信長・秀吉の拡大主義（インフレ指向）・戦争主義に対し、家康は安定主義（デフレ指向）・平和主義と、タイプの全く違う政治家と私は見なしている。

家康は、関ヶ原の合戦を自ら仕掛け、東軍・西軍の好戦派を上手に戦わせ、福島・加藤ら好戦大名の力を削ぎ、やがて彼らは没落していったのである。一方、徳川秀忠軍をはじめとする徳川本体は関ヶ原以降に備えさせている。信州真田一族との戦いが長引いて秀忠軍が関ヶ原に間に合わなかったのは、まさに家康のやらせであったと評する歴史家もいるほどである。関ヶ原とは、自由競争・武力主義を終わらせるために仕掛けられたものである。その後大坂冬の陣・夏の陣を経て徳川単独政権になると、家康は本格的なデフレ政策に舵を切るのである。土農工商により身分を固定化させ、競争のない社会をつくり上げた。米を経済の中心に据え、商業を押さえたのも経済格差を抑えるためである。国民には、経済的・物質的成長を求めさせない代わりに、精神的成長を求めさせた。全国の寺子屋はもちろんのこと、農民・庶民にまで儒教を学ばせ、江戸時代の日本人の識字率は世界最高水準であったとも言われている。言い換えれば、日本の鎖国は単に眠っていたのではなく、国民すべてが勉強をしていたのであり、それによって明治の開国と同時に、一気に先進国に追いつくことができたのである。後進国と言われながら教育程度の高さは列強諸国を上回り、他のアジア諸国のように彼らに征服される状況にはなかったと私は思う。

家康の最も評価すべき政策は鎖国である。当時の世界は植民地主義時代。侵略国か被侵略国の選択を日本は迫られていて、秀吉は侵略者の道を選んで大失敗した。日本には侵略国政策は似合わない判断した家康は、被侵略国となることを避けるために鎖国という平和の道を選んだ。鎖国とは、西欧列強から戦わずして独立することであり、軍事費用や軍役による国力の衰退を避け得る極めて有力な防衛手段であった。外国の文化からは遅れを取ったが、国民・庶民には勉強させ、いつでも開国できる態勢を取った。こうした政策により、徳川250年は平和と安定が続き、武士道という精神文化をはじめ、公家文化・武家文化・町人文化といった日本独自の複層的文化が花開いた、まさに江戸黄金時代であったと私は評価する。

徳川のこうした諸政策に歴史家はあまり良い評価を与えていないが、これらは明治以降の富国強兵政策のために宣伝された悪評であり、16～19世紀の侵略と戦争の時代に250年もの安全・安定した国家をつくり上げた徳川の平和国家づくりは、現代の我々が求めなければならない政治課題と思えてならない。

恭子のワーキングライフ

“ シーズンを前に ”

皆様は夏休みをどのように過ごされましたか?! 悪天候で予定を大幅に変更された方もいらっしゃるのでは・・・。

今夏は迷走台風や気圧の影響などを受け、全国的に豪雨による河川の氾濫、土砂崩れや崖崩れ、雷雨・竜巻などによる甚大な被害が多く発生しました。今もなお避難生活を余儀なくされている方が大勢いる状況に心が痛み、一日も早い復旧・復興を願うばかりです。

連日のように天気予報で「記録的短時間大雨情報」「突然の大雨に注意!」「竜巻などの激しい突風や落雷に注意!」と言ったフレーズを耳にします。先日は愛知県犬山市や小牧市に長時間雨雲が停滞し、河川の増水による浸水被害が続出しました。また豊橋市の竜巻被害や一宮市の落雷による火災が発生するなど、全国ニュースで大きく取り上げられたのも記憶に新しいところです。

私は会社前の環状線が集中豪雨で冠水し、車道が川のように濁流の光景を目の当たりにしました。名古屋市内の排水施設が整備された環境下においても、下水管の破裂や増水で崩落した道路の陥没被害が多発している現状に驚きを隠せない思いでした。本格的な台風シーズンを前に、今一度身の回りを点検して防災を意識した生活を心掛けたいと思っております。

さて余談になりますが、弊社は名古屋港水族館「法人サポーター会員」に入会登録し、8月から社員と家族が1日2名無料で名古屋港の4施設（水族館・海洋博物館・観測船ふじ・展望室）が利用できるようになりました。私はさっそくお盆休み中に利用し、約3万5千匹のマイワシが幻想的な照明と音響で見せる「マイワシのトルネード」イルカやシャチ・ベルーガのショーなどを見て童心に帰り、海の生き物にとっても癒されました。会社が入会したことで社員が福利厚生として利用でき、貨物量日本一を誇る名古屋港と私たちの暮らしとの関わりを知る機会にもなりました。

(因みに、この振興財団の「法人サポーター会員」制度は、名古屋港木材産業協同組合 事務局長 柿内賢治氏が在職中に企画されたそうです)

木場すずめ

『 趣味の説明は難しい 』

最近古い友人達に会った時、自分の趣味や休日の過ごし方をうまく伝えられなかったので、今後誰かに伝えられるように、ここに書いてまとめてみたいと思います。

主な趣味は木工工作、電気工作、鉄鋼工作、リフォーム、燃焼実験、ギター・ピアノ・クラリネット・雅楽の笙、自然栽培、ガールズフォト、デイトレ、オンラインゲーム、釣り、映画・読書、料理、指圧、合気道など。

どれも面白いですが、一番人に説明しにくい趣味が“ガールズフォト”です。

ガールズフォトというと、いやらしいことを想像されてしまう方がいらっしゃるかもしれませんが、そうではありません。要するに女の子の写真を撮るわけですが、勝手に撮ったり、怪しげな撮影会などに参加するわけではありません。お互い楽しくなることが大切で、決してナンパ目的ではないのが肝です。

どうするのかというと、自撮りしようとして困っている人や、記念撮影を撮ってもらう人を探しているグループがいたら、お助けするのです。大きな公園や観光地、海水浴場などでは困っている人をよく見かけます。もちろん老若男女カップルを問わず困っている人がいればこちらから声を掛けますが、最近はSNS用でしょうか、ヤングでナウなギャルで自撮りに困っている人が多いのです。

そういうグループを見つけたら、事前に構図やポーズなどイメージしてから声を掛け、相手のスマホやデジカメを受け取り、楽しく写します。ほとんどみんな「うわー!キレイ!」と言って喜んでくれます。ノッてくると次々とカメラを渡してくるので、様子を見て自分のカメラでも許可をもらい写させてもらう。時にはすごく盛り上がり、ジュースをご馳走になったり、自分も一緒に写っちゃったりと、思わぬ交流も生まれたりします。

しかしストレスもあります。声を掛けても断られることもあります。そんなときは一旦カメラをしまい、オンラインゲームで遊ぶことにしています。

農業文化園 戸田川緑地 秋まつり

親子木工教室開催

— 国産材桧と杉を使用した子ども机と背付イスをつくろう! —

スタッフもお手伝いしながら作業を進めますので初めての方でも安心してご参加いただけます。

日 時：平成29年10月8日(日)・9日(月・祝)
1回目/10時30分～ 2回目/13時30分～

定 員：各回 先着10組限定

参加費：2,500円(税込)

場 所：農業文化園内フラワーセンター前
名古屋市港区春田野二丁目3204

主 催：名古屋木材青壮年会

農業文化園・戸田川緑地「秋まつり」の詳細については

ホームページをご覧ください ⇒ <http://bunkaen-todagawa.jp>



ぜひご家族で
ご参加ください!

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

事務所等を狙った侵入盗被害が多発!!

本年8月に入り、蟹江警察署管内において、深夜の会社事務所や閉店後の店舗内にある、金庫やレジを狙った侵入盗被害が多発しています!

【防犯上の注意点】

- ・防犯カメラ、センサーライトの設置等、目に見える防犯対策をしましょう!
- ・無人でも室内灯を点灯させる等して、犯人に留守を悟られないようにしましょう!
- ・現金は、固定された金庫で厳重に保管し、事務所や店舗のレジに残さないようにしましょう!

街ぐるみで犯罪被害を防止しましょう!!

◆ 広告コーナー

快適な環境づくりに取り組む

INOUE

■バグフィルター集塵機	■破砕機 ウッドグラインダー	■木質ペレット製造装置
■サイクロン集塵機	■粉砕機 ファンシュレッダー	■ブリケッタ
■定量排出装置	■火花探知器・安全装置	■送排風機
■トラック積載装置	■異物除去器	■ダクト部品

井上電設株式会社 | 名古屋市中区金山4丁目3-17
TEL (052) 322-5271
FAX (052) 332-5273
<http://www.inoue-d.co.jp> E-mail:tech@inoue-d.co.jp

新型 **GENEO** 誕生!

Clean Tech Diesel

トヨタL&F中部株式会社

本社 TEL:052-882-6411
名港(営) TEL:0567-55-0722
小牧(営) TEL:0568-77-5365
高山(営) TEL:0577-33-4020

発行 名古屋木材組合
発行者 西垣洋一
〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
TEL <052> 331-9386
FAX <052> 322-3376
【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
発行者 嶺木昌行
〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74
TEL <0567> 57-2017
FAX <0567> 57-2018
【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会